

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2727
部名	経済部	課名	産業振興課	課長名	高部 博
事務事業名	産業会館管理運営費				
予算上の事務事業名	産業会館管理運営費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31110		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第1節 活力ある産業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 総合的な産業振興施策の推進				平成14年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立産業会館条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 施設運営 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
相模原市立産業会館の管理運営を利用料金制度のもとで、相模原商工会議所へ委託するもの。 管理受託者の経営努力により、利用者サービスの向上、施設の維持管理コストの低減が期待される。			相模原商工会議所		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
委託料を支出し、施設の管理運営を委託した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	81,043	82,658	79,400	85,056	85,060
一般財源	80,856	82,441	79,200	84,696	84,700
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	187	217	200	360	360
人件費の合計	839	400	403	403	403
事業コスト合計(a)	81,882	83,058	79,803	85,459	85,463
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	産業会館管理運営業務委託			対象名称(単位)	1件
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	76,000	77,019	77,019	77,179	77,179
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	76,000,000	77,019,000	77,019,000	77,179,000	77,179,000
前年度比		1.01	1.00	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	利用料金収入増加率	指標式と指 標の説明	本年度利用料金÷前年度利用料金×100 管理受託者の経営努力による利用料金収入の伸び率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	113.4	96.8	106.8		
目標	101.0	101.0	101.0	101.0	101.0
目標達成度	1.12	0.96	1.06		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	市職員人件費削減率	指標式と指 標の説明	本年度人件費÷前年度人件費×100 市職員の事務量削減度合い		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	66.0	47.0	100.0		
目標	66.0	47.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		利用料金制度の導入で、管理受託者の経営努力が期待されてきたが、今後、指定管理者制度を導入することにより、更に柔軟な対応が可能となるため、事業効率の向上が期待できる。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成15年度には、利用料金の一部引き下げを行った。今後は、平成17年度に貸室の追加、平成18年度に指定管理者制度の導入などを予定している。			利用率を向上させることこそが、事業効果を最大限に上げることになるので、管理受託者と協調しながら有効な施策を検討していきたい。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		指定管理者制度の導入。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			